

福富地区感謝祭 福富支店・アグリセンター



JA福富支店と福富アグリセン

ターは11月8日、福富町の久芳低温

倉庫で感謝祭を開きました。約50

0人が来場。JA共済連広島の「地

域・農業活性化取組支援助成金」を活

用しました。

福富源流太鼓や賀茂北高校吹奏楽部、銭太鼓ふくとみなどの地元グループがステージで披露した他、本郷神楽団が神樂ばやしを鳴り響かせました。地元の野菜やこんにゃくの販売、ミカン詰め放題、女性部によるつどんや炊き込みご飯も好評でした。



JA福富支店と福富アグリセン

ターは11月8日、福富町の久芳低温

倉庫で感謝祭を開きました。約50

0人が来場。JA共済連広島の「地

域・農業活性化取組支援助成金」を活

用しました。

福富源流太鼓や賀茂北高校吹奏楽部、銭太鼓ふくとみなどの地元グループがステージで披露した他、本郷神楽団が神樂ばやしを鳴り響かせました。地元の野菜やこんにゃくの販売、ミカン詰め放題、女性部によるつどんや炊き込みご飯も好評でした。

流通センター市場祭でPR 八本松支店ふれあい委員会

JJA八本松支店ふれあい委員会は11月23日、東広島流通センターで開かれた市場祭に出店しました。

ふれあい委員とJA職員が参加。

ダイコンやハクサイ、サトイモなどの地元野菜や、安芸津産のジャガイモをPR販売しました。スーパー・ボールすくいや輪投げ、ダーツなどコーナーも設け、景品には呉市産のミカンをプレゼントし、多くの子どもたちでにぎわいました。

河本正信委員長は「多くの人にJAや地元野菜をPRできた。イベントに参加することで地域を盛り上げていきたい」と話しました。



▲野菜を販売するふれあい委員



▲野菜を販売する生産者の家族



特産野菜と米の生産で地域を守る 【八本松町】森長 秀隆さん



八本松町の森長秀隆さん(48)は、特産野菜の生産で地域農業を支えています。昨年1月に専業農家となり、妻の孝子さんと力を合わせながら白ネギや大型ピーマン「でかピー君」、カボチャなどを栽培。JAの試験栽培にも協力し、地域から期待される存在です。

森長さんは、祖父の代から続く表具師を20歳で継ぎ、兼業で稻作も営んできました。2018年に野菜作りを始め、産直市などに出荷。2019年から本格的に白ねぎを栽培し、市場への出荷を始めました。

現在は、水稻1.2ha、白ネギ60a、ピーマン10a、カボチャ15a、トウモロコシ20a、その他の野菜を10aで栽培しています。

ピーマンには、自動かん水システムの日射比例拍動式かん水システムを導入。省力化や労力を軽減するとともに、適時・適量の自動かん水と施肥で品質向上に取り組んでいます。

白ネギの運作障害の対策としてイネ科のトウモロコシに着目。白



▲白ネギなど地域の特産野菜を栽培する森長さん

ネギとトウモロコシを2、3年のサイクルで輪作しています。猛暑による高温障害のリスクを軽減するため、今作では耐暑性のある3品種を試験栽培し、JAと経過を観察しています。

丁寧な管理を心掛けている森長さんです。専業になって専念できることで、より真摯に農業に向き合えるようになりました。森長さんは「農業を続けることで地域の農地や景観を守っていきたい」と思いを込めます。

なるほどえ～のう！ 宮農情報



なるほど
え～のう！
宮農情報



しかし、多くの販売店が売り上げ数量の減少に苦慮していることと、消費者の買いだめと、小売価格が小刻みに下落し、買い控えをしていることなどから今後の米の動向は予断を許さない状況になっているといえます。

全国の地域計画では10年後に耕作者が未定な農地は約4割で、広島県では約6割もの農地が未定になっています。令和7年産の米を投資目的で売買した業者があり、これは米価が乱高下する危険な要素をほらんています。令和7年産の米を投資目

◆令和7年産米の動向について

令和7年産の水稻作況単収指数は、広島県で1.05、全国では1.02（10月10日発表現在）と、豊作傾向となり、米価は過去にないほど高騰しました。

農水省は令和7年産の主食用米の収穫量を748万tと見通し、前年と比べて69万t増えることを発表しました。令和8年6月末までの需 要量は697万tから711万tの見通しをしており、今後、供給量が必要量を上回る予想となっています。

このようになるとから令和6年5月から始まった「令和の米騒動」は一旦落ち着きましたが、思いのほか供給が多くなったことで、米価の下落が懸念される状況になっています。業者の買取価格が高かつたことから小売店での店頭価格は下がっています。

農水省は令和7年産の主食用米の収穫量を748万tと見通し、前年と比べて69万t増えることを発表しました。令和8年6月末までの需 要量は697万tから711万tの見通しをしており、今後、供給量が必要量を上回る予想となっています。

このようになるとから令和6年5月から始まった「令和の米騒動」は一旦落ち着きましたが、思いのほか供給が多くなったことで、米価の下落が懸念される状況になっています。業者の買取価格が高かつたことから小売店での店頭価格は下がっています。



的で売買した業者があり、これは米価が乱高下する危険な要素をほらんています。これ以上、離農者を増やすことがないよう我々生産サイドも冷静に今の状況を見極める必要があるのかもしれません。



	集荷目標	出荷契約数量	集荷実績	集荷目標比率	出荷契約比率
令和7年産米	218,000	214,192	174,889	80.2%	81.7%
令和6年産米	258,000	259,079	197,367	76.5%	76.2%

単位：袋 (30kg)

銘柄名	1等	比率(%)	2等	比率(%)	3等	比率(%)	合計
コシヒカリ	34,654	75.8	10,642	23.3	414	0.9	45,710
恋の予感	16,798	95.9	721	4.1	3	0.0	17,522
あきさかり	36,490	83.8	6,198	14.2	882	2.0	43,570
あきるまん	22,416	90.4	2,027	8.2	347	1.4	24,790
中生新千本	2,092	87.5	251	12.5	0	0.0	2,009

◆集荷実績と品質

令和7年11月6日現在のJAの集荷実績と等級を紹介します。

●集荷実績について

令和7年度内に追加集荷検査をアグリセンターで行なっておりますので、一袋でもJAへの出荷をお願いいたします。

◆品質について

早生品種では出穂時期に高温になり、高温障害による品質低下が心配されました。秋の検査時には、コシヒカリ等の早生品種を中心には収穫前の降雨と高温で発芽米による品質低下(低格付け)を招く一つの要因になりました。





異常気象下における 野菜生産技術

◆令和8年度における野菜栽培

令和7年も異常気象となり、夏（6～8月）は記録的な高温となりました。夏の平均気温偏差(平年値との差)は、昨年、一昨年の記録を大幅に上回り、3年連続で最も高い記録となりました。また、歴代最高気温を観測し、猛暑日や40℃以上の延べ地点数の記録も更新しました。梅雨も多くの方で過去最も早い梅雨明けとなるなど、季節進行が早く、7月は記録的な少雨水でした。

広島中央管内特産のナス、ピーマン等の夏秋品目は、特に猛暑の影響を大きく受け、平年より収量が減収しました。また、家庭菜園も大変栽培しにくい年でした。特に、乾燥した水不足の圃場では、草丈も短く、実も小ぶり気味の野菜が目に付きました。

今年も異常気象が続く傾向になります。異常気象対策の代表的な技術を紹介します。

◆異常気象に対応した栽培技術 定期定量灌水技術のススメ

人間も暑い夏には水分をこまめ

に摂取するのと同様に、特に多量の水を必要とする夏秋品目などは定期的な灌水が必要となります。水田を利用した圃場では「畝間灌水」により給水をしていましたが、急な水分変化により作物へのストレス、ひいては病害虫発生を助長することになります。そこで市場出荷目的の栽培圃場には「日射比例型拍動灌水装置ソーラーパルサー」灌水装置を設置し、定期的灌水を推奨しています。また、この装置を使用し、灌水と同時に肥料も施すことができるので労力軽減も図れます。ナスの栽培を検討している方は灌水装置の導入も視野に入れてください。

●植物活性資材の活用のススメ 農作物の安定生産に効果が高いとされる「バイオステイミュラント（B-S）」資材を定期的に散布することで作付け後の低温・夏場の猛暑の影響を少しでも軽減することができます。農業ではありません。使用する際は、容器のラベルをよく読んで正しく使用しましょう。



▲コンテストの入賞者ら

**受賞者の皆さん
おめでとうございます**

最優秀賞	村若 哲磨さん（豊栄町）コシヒカリ
優秀賞	小畠 誠司さん（西条町）恋の予感
3位	(農)ファームかみありだ（高屋町）あきさかり
4位	ファームたかちゃんち（西条町）にこまる
5位	(農)ファーム志和（志和町）あきろまん

第5回「ぶちうまいお米コンテスト in 東広島」の決勝審査会を開きました。62点の応募から、同市豊栄町の村若哲磨さんが最優秀賞に輝きました。同大会は、市内の稻作農家や集落當農法人の生産意欲の高揚と食味向上によるブランド化、県内外への販路拡大を目的に2021年から開いています。

予備審査では、機器で成分や品質を分析。決勝審査では高垣広徳市長やJAの田中義彦組合長ら7人が上位5点を実食して、最優秀賞、優秀賞、3～5位を決定しました。JA全農ひろしまや食協も

3回目の最優秀賞受賞となつた村若さんは、「特に高温障害対策に力を入れ、初めての取り組みにも挑戦した。スマート農業を次世代にも伝え、誰もが品質の良い米が作れるよう広めたい」と喜びを語りました。

田中組合長は、「コンテストの継続で消費者においしさを知つてもらい、ブランド化を進めたい。関係機関との連携強化で、生産維持にも取り組む」と力を込めました。



▲最優秀の村若さん

ぶちうまいお米 第5回コンテストを開催



▶ Information お知らせ

広島中央地域事務所の移転について(お知らせ)

事務所移転のお知らせについて、広報誌12月号でも掲載しましたが、
営農経済センターのFAX番号が変更となりましたのでお知らせします。



©ここまる

広島中央地域(総務管理課・信用共済課)

新住所 東広島市西条中央5丁目8-10(2階)

総務管理課

TEL(082)422-2166
FAX(082)422-0328

信用共済課

TEL(082)422-2167
FAX(082)422-0328

※電話・FAXの番号に変更はありません。



移転日
令和8年1月26日(月)



広島中央地域
(総務管理課・信用共済課)

(旧・広島中央地域営農センター事務所)

広島中央地域 営農経済センター(営農販売課・購買課・食糧センター)

新住所 東広島市八本松東2丁目21-1東広島流通センター市場棟2階

※電話番号に変更はありません。

営農販売課

TEL(082)423-5913
FAX(082)426-5071

購買課

TEL(082)424-0240
FAX(082)426-5072

食糧センター

フリーダイヤル(0120)342-911
FAX(082)426-5072



移転日
令和8年1月13日(火)



広島中央地域
営農経済センター
(営農販売課・購買課・食糧センター)

東広島市
園芸センターより

志和アグリ図書館のご紹介

農業分野に特化した志和アグリ図書館を園芸センター内に設置しています。平日9:00～16:30は、館内の本を自由に閲覧できます。館内閲覧専用の一般図書や児童図書も置いています。月2回、図書館スタッフが出張して、貸出などの図書館サービスを行なっています。

[サービス内容]

- 志和アグリ図書館と東広島市立図書館の本の貸出と返却の受付。
- 東広島市立図書館のカードの新規利用登録の手続き。
- 読みたい本や探している本の検索や相談、予約の受付。

- 調べものの相談とその本や資料、情報の紹介。
- 農文協が発行した『現代農業』『農業技術大系』などの書籍や農作業に関する動画の写真が多数収録されたデジタルコンテンツ「ルーラル電子図書館」の閲覧。

[1月の出張日]

- 1月18日(日) 11:00～13:00
- 1月20日(火) 14:30～16:30

申込・問い合わせ

東広島市立中央図書館
TEL 082-422-9449

